

管理番号

44

研究内容の説明文

| | |
|-----------------------------|---|
| 献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名) | 悪性リンパ腫における免疫回避に関する研究 (悪性リンパ腫における免疫回避機序の解明) |
| 研究開発期間 (西暦) | 2024 年 6 月～2026 年 7 月 |
| 研究機関名 | 北海道大学大学院 医学研究院 血液内科 |
| 研究責任者職氏名 | 助教 中川 雅夫 |

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

悪性リンパ腫は遺伝子異常によって悪性形質を獲得します。その変化によって、正常免疫細胞による腫瘍への攻撃を回避すると考えられています。しかし、その具体的な分子学的機序については、十分に解明されていません。本研究では悪性リンパ腫細胞を用いて、正常免疫細胞からの攻撃を回避する機序を分析・解明し、分子生物学的に悪性リンパ腫の病態を明らかにすると共に免疫細胞による抗腫瘍活性を改善する方法を検討することを目的とします。本研究により悪性リンパ腫細胞における正常免疫細胞に対する免疫回避機序を明らかにすることにより、悪性リンパ腫発症のメカニズム解明に貢献し、さらに新たな免疫治療戦略の開発が期待されます。

2 使用する献血血液の種類・情報の項目

献血血液の種類：全血（規格外）

献血血液の情報：なし

3 共同研究機関及びその研究責任者氏名

《献血血液を使用する共同研究機関》

なし

《献血血液を使用しない共同研究機関》

なし

4 献血血液の利用を開始する予定日

2024 年 6 月 1 日

5 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液のヒト遺伝子解析： ☐行いません。 ☒行います。

《研究方法》

免疫関連遺伝子を遺伝子改変した悪性リンパ腫細胞を対象として、正常免疫細胞からの攻撃に対する感受性・抵抗性を解析します。悪性リンパ腫細胞と献血血液製剤由来正常単核球を *in vitro* で共培養し、あるいは、免疫不全マウスに移植した悪性リンパ腫細胞に対しキメラ抗原受容体導入正常単核球（献血血液製剤由来）を輸注し、細胞数の変化、および、細胞分子学的変化を解析します。正常リンパ球と悪性リンパ腫細胞を共培養する場合は HLA 型を合わせる、あるいは、キメラ抗原受容体を正常リンパ球に導入することで、実際の臨床病態に則した解析を行います。献血血液のヒト遺伝子解析については、HLA 遺伝子型タイピングを行い、個人を特定するような解析は致しません。

6 献血血液の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

7 上記 6 を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

本研究に関する問い合わせ先

受付番号 R060010

| | |
|------|-----------------------------|
| 所属 | 北海道大学大学院 医学研究院 血液内科学教室 |
| 担当者 | 中川 雅夫 |
| 電話 | 011-706-7214 |
| Mail | nakagawam@med.hokudai.ac.jp |